

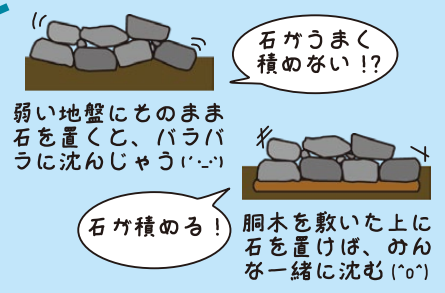
前のページのつづき！
岩山だった証拠は城内にあるぞ
ツシの一部じゃ



鍛冶曲輪の石切場跡

②岩山のまわりに広がる弱い地盤

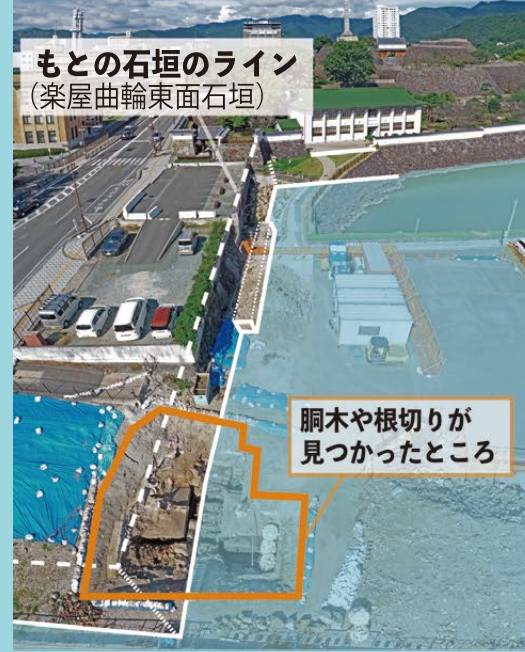
一方、岩山のまわりは沼のような弱い地盤で、こういう場所に石垣をつくるのは大変です。そこで、安定した石垣をつくるために胴木を設置します。甲府城では、これまでに3地点で胴木が見つかりました。



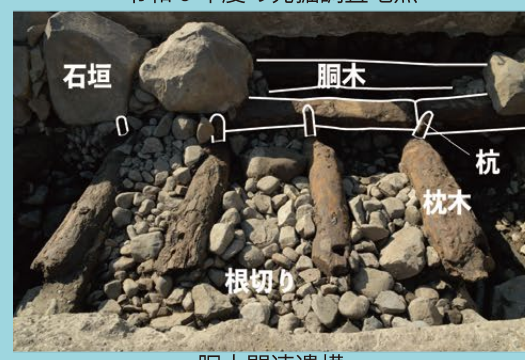
遊亀橋近くの石垣の構造
力こそ正義! と思ったが、工夫次第で石垣も積めるんじゃないかな。

令和6年度の発掘成果！

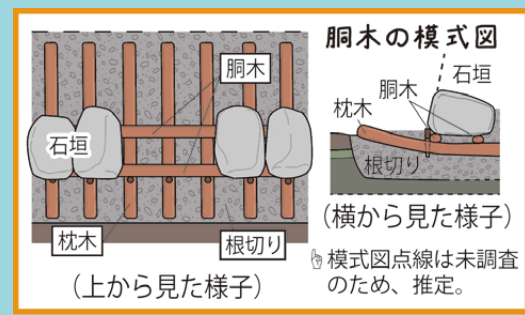
③弱い地盤に石垣をつくる工夫



令和6年度の発掘調査地点



胴木関連遺構



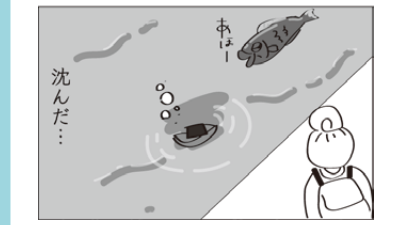
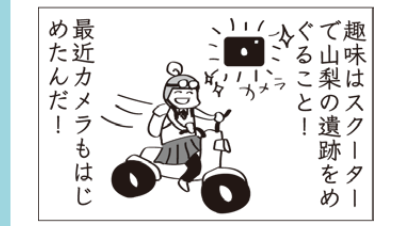
令和6年度の発掘では、石垣の“根元”の構造が明らかになりました！石垣の下には、胴木と枕木が敷かれ、さらにその下には砂っぽい地盤を1m程掘り込み、石を詰める「根切り」があることがわかりました。枕木は約60cm間隔で置かれ、杭が打ち込まれていました。根切りの石は手作業で詰めたかのように密であり、これが弱い地盤を硬くしています。

お城の石垣としては特に古い時期の石垣がよく残る甲府城跡。そんな古い石垣が壊れずに現在まで伝わった理由が明らかになりました。



ゆるい地盤を掘って石を詰めた根切り

今まで甲府城で見つかったどの胴木よりも“念入り”な工事なようじゃな！



山梨県埋蔵文化財センター報

埋文やまなし

今につながる
昔のくらし
第73号
2025.11.07

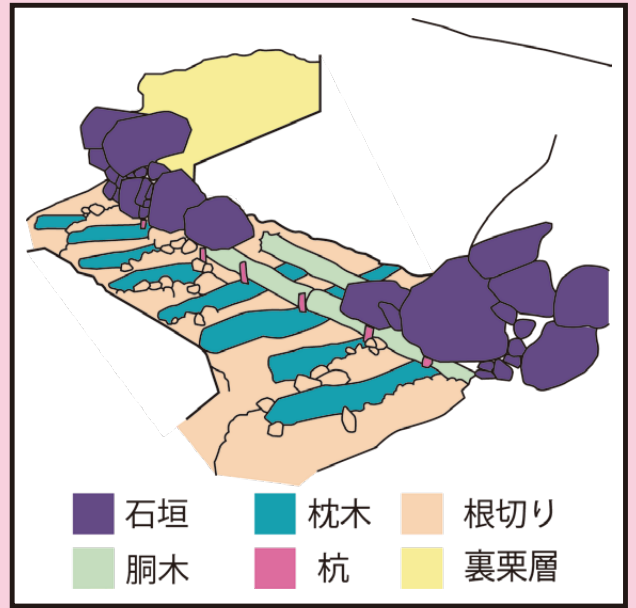


↑史跡甲府城跡 内堀エリアの石垣の地盤補強・改良の様子

今回の埋文やまなしは、前回の72号では収まりきらなかった、当センターで実施した「大規模事業に伴う調査」と「内堀整備に伴う史跡甲府城跡の調査速報」の2大特集をお届け！

紹介するのは、甲府市と笛吹市の7つの遺跡たち。近接する遺跡の調査も多く、遺跡同士の関係が注目されます。どんな発見があったのか！？

次のページにGO！



石垣 枕木 根切り
胴木 杭 裏栗層

写真の解説

編集後記

「遺跡」って昔の話に思えるけれど、実は同じ地域に住んだ先輩たちの足跡なんです。甲府城跡の430年前の技術も、今につながる工法。そう思うとワクワクしませんか？学んだことをシェアして、あなたも歴史をつなぐ仲間にな！（も）

埋文やまなし 第73号
発行 山梨県埋蔵文化財センター
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
☎ 055-266-3016
印刷 株式会社峡南堂印刷所
ホームページはこちら



